

教師の魅力発信動画 - 恩師の背中を追いかけた編 - 発言概要

ナレーション	<p>教師の魅力。その一つとして、子どもの成長を間近で感じ、素敵な出会いに巡り合えることがあげられます。</p> <p>教え子が、恩師の背中を見て教員になる。今回はこのような素敵な出会いをご紹介します。</p> <p>二人は中学校時代の野球部で出逢い、恩師と教え子の関係でした。</p>
テロップ	<p>恩師 京都市立大淀中学校 油谷 昇 校長</p> <p>教え子 京都市立樫原中学校 野村 佑吉 教諭</p> <p>教員を目指したきっかけは恩師との出逢い</p>
野村	<p>中学3年生で油谷先生と出会い、それまではチームとしての練習よりも個人の技術を高められれば良いと取り組んでいたが、チームというのが変わればこんなにも部活動が楽しいのかと、しんどいこともあったが充実していたと思えたのが自分も野球にずっと携わっていける職業に就きたいと思ったきっかけかと思います。</p>
テロップ	<p>印象的なエピソード</p> <p>教え子 野村教諭</p>
野村	<p>お菓子をこっそり教室で食べてしまい、見つかってめちゃくちゃ叱ってもらいました。野球部にいた時から「エラーはしてもいい、ミスはしてはいけない」と言われていて、エラーは積極的に動いたり一生懸命頑張ってること、ミスは不注意や消極的な失敗のことで、その時も「これはエラーかミスかどっちや」と怒りながらも自分がわかるように怒っていただいたことを覚えています。</p>
テロップ	<p>当時のことを覚えていますか？</p>
油谷	<p>全然覚えていません(笑) エラーとミスの話はしょっちゅうしていたので引き合いに出して話したのかなと思います。</p>
テロップ	<p>その後、大学生となった野村教諭は、 母校で学生ボランティアに従事され、 恩師とともに野球部に関わります。</p>
テロップ	<p>当時の印象的なエピソード</p> <p>恩師 油谷校長</p>
油谷	<p>東日本大震災の際に、(野村君から) ボランティアに行きたいがどう思うか問われ、ぜひ行ってきてほしいと、教師を目指すのもわかっていたので現地に行ってどれだけできるかはわからないが現場で突っ込んでいけ、得るものも多いだろうという話をした。帰ってきた直後の後輩たちとのミーティング中、ちょっとピリッとしていなかった時、「お前たちなんだこの練習は。</p>

	<p>こういうご時世中で、僕らは元気に野球ができているが、現地の人はどうな 思いで生活しているか、僕はがれきを撤去しながら感じた。お前たち野球を している感謝の気持ちがあるんか。」段々熱くなり、ぼろぼろ泣きながら語 ってくれた。その姿がグラウンドの夕焼けとマッチして、この人めっちゃ良 い先生になるやろなとすごく感動したことがありました。</p>
テロップ	<p>恩師から現在同僚である教え子へ</p>
油谷	<p>これから京都市の教育を引っ張っていく存在。野村君に教えてもらってい る子供たちにもこの気持ちをどんどん伝えていってほしい。 いい出会いができて良かったと思います。</p>
野村	<p>嬉しいです。ありがとうございます。</p>
テロップ	<p>教え子から恩師へ</p>
野村	<p>いつか、先生と同じ学校で働いて、野球部の顧問を担当して一緒に野球部 を見ていただきたいなと思っています。またいつか一緒に働けることを願っ ています。</p>
油谷	<p>是非ともよろしくお願いします。</p>
ナレーシ ョン	<p>こうして教師のバトンは受け継がれていきます。 先生一人一人の教育実践が子どもたちの笑顔を、そして未来を作ります。</p>